

## 「静岡県障害のある方の実態調査」の結果（概要）

### （要旨）

- ・今回の調査によると、「自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思う」、「生活に満足している」とした割合は66.8%で、前回調査に引き続き、概ね横ばいで推移している。
- ・前回調査に引き続き、「70歳以上の介助者の割合」が2割を超える結果となった。一方で、今後、心配なこととして56.4%の方が「保護者の方がいなくなった後の生活」と回答している。
- ・普段の生活で、3割以上の方がICT機器を使用していないことが判明した。【新規調査】
- ・調査の結果は、「第6次静岡県障害者計画」に反映する。

### （調査の概要）

#### 1 調査目的

本調査は、障害のある方の生活の実情と施策に対する意向等を把握し、第6次静岡県障害者計画策定の基礎資料とするために実施した。

#### 2 調査内容

障害のある方の生活の実情と施策に対する意向等の8分野（39項目）

- |                    |              |                 |            |
|--------------------|--------------|-----------------|------------|
| ①あなたについて           | ②住まい・暮らし     | ③障害福祉サービス等の利用状況 |            |
| ④仕事や家計             | ⑤生活の環境や安全・安心 | ⑥社会参加           | ⑦悩み事に対する相談 |
| ⑧その他（生活満足度、行政への希望） |              |                 |            |

#### 3 調査方法

調査期間：令和6年9月～11月（3か月間）

| 区分       | 配付数    | 配付方法  |
|----------|--------|---|
| 身体障害のある方 | 4,000  | 県内の身体障害者手帳所持者及び療育手帳所持者から無作為に抽出し、郵便にて調査票を配付・回収 |
| 知的障害のある方 | 3,000  |   |
| 精神障害のある方 | 3,000  | 県内の精神科医療機関の協力を得て、各医療機関を通じて入通院者に配付し、郵便にて回収     |
| 計        | 10,000 | —   |

#### 4 回収結果

| 区分            | H28               | R2                | R6（今回）            |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 発送数           | 10,000件           | 10,000件           | 10,000件           |
| 回収件数<br>（回収率） | 4,389件<br>(43.9%) | 4,615件<br>(46.2%) | 3,841件<br>(38.4%) |
| 身体障害          | 2,029件            | 2,219件            | 1,794件            |
| 知的障害          | 1,177件            | 1,221件            | 921件              |
| 精神障害          | 1,115件            | 955件              | 818件              |
| その他（無回答ほか）    | 68件               | 220件              | 308件              |

自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思う方の割合

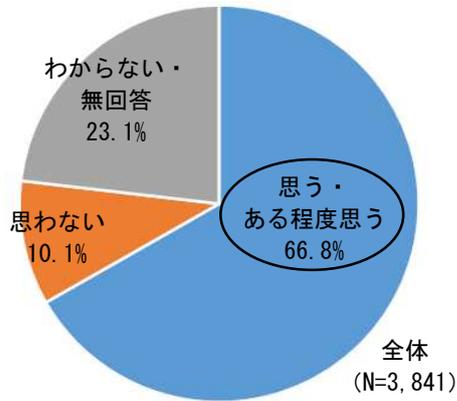
H28 調査  
64.7%

R2 調査  
68.4%

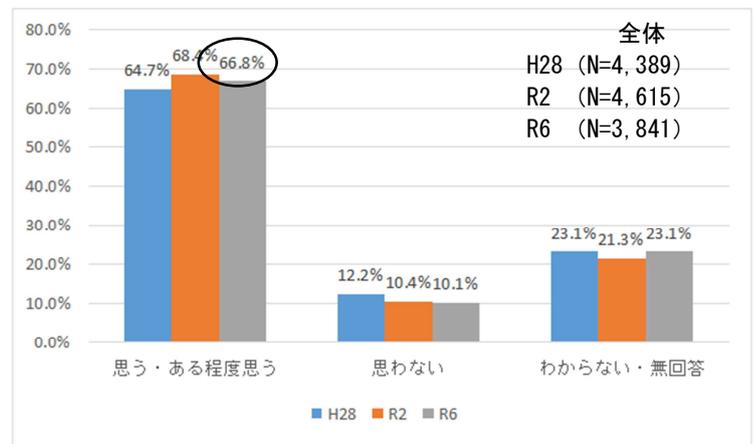
R6 調査  
66.8%

問 自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思いますか。

【今回調査結果】



【過去の調査との比較】



| 区分  | 思う    | ある程度思う | 思わない  | わからない | 無回答   |
|-----|-------|--------|-------|-------|-------|
| H28 | 19.5% | 45.2%  | 12.2% | 17.5% | 5.6%  |
|     |       | 64.7%  | 12.2% |       | 23.1% |
| R2  | 21.4% | 47.0%  | 10.4% | 17.1% | 4.2%  |
|     |       | 68.4%  | 10.4% |       | 21.3% |
| R6  | 20.3% | 46.5%  | 10.1% | 18.6% | 4.6%  |
|     |       | 66.8%  | 10.1% |       | 23.1% |

「安心して暮らせるところだと思う」及び「ある程度安心して暮らせるところだと思う」を合わせた割合は66.8%と、前回調査結果から1.6ポイント減少しています。今後も、福祉サービスの充実はもとより、交通機関や施設などの「街のバリアフリー化」のみならず、障害に対する県民の理解を深める「心のバリアフリー化」を進めていく必要があります。

差別や虐待を受けたことのある方の割合

H28 調査  
17.4%

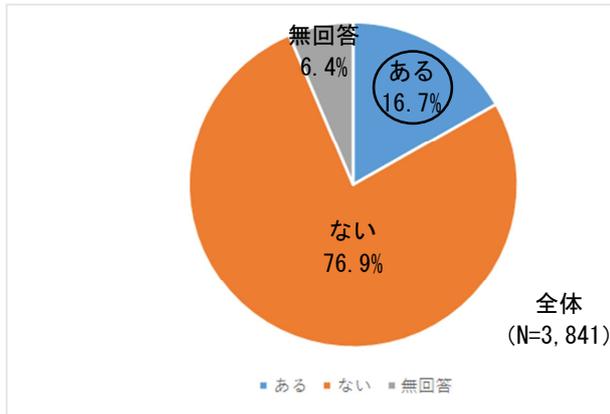
R2 調査  
17.3%

R6 調査  
16.7%

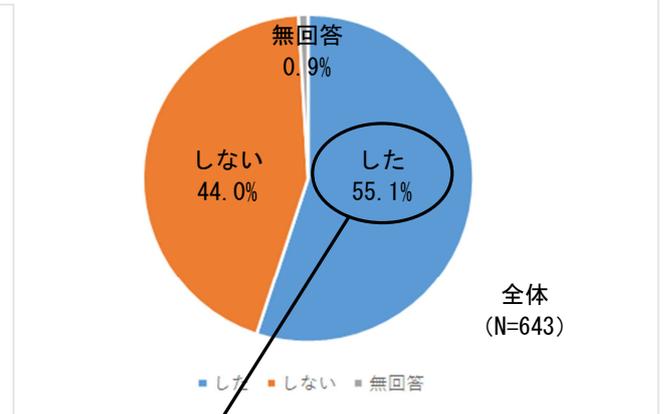
問 生活をしている中で、差別や虐待を受けたことはありますか。

※「虐待」とは身体的な虐待だけでなく、金銭的な虐待、心理的な虐待、性的な虐待を含みます。

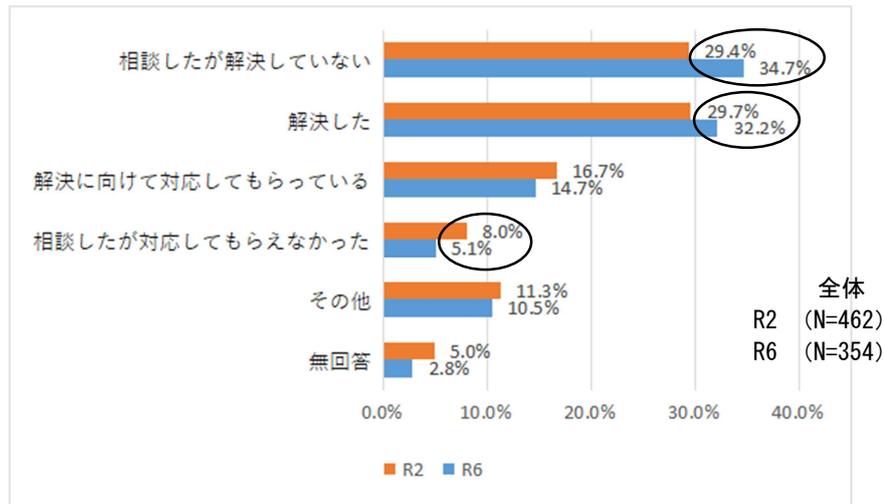
【差別・虐待経験の有無】



【相談経験の有無】



問 (上記において相談した方について) その相談は解決しましたか。



生活の中で、差別や虐待を受けたことが「ある」方の割合は16.7%でした。

差別や虐待を受けたことがある方のうち、55.1%が差別や虐待を受けたことを誰かに相談していますが、「相談したが解決していない」34.7%、「相談したが対応してもらえなかった」5.1%と、4割近くが問題解決に至っていない結果となっています。

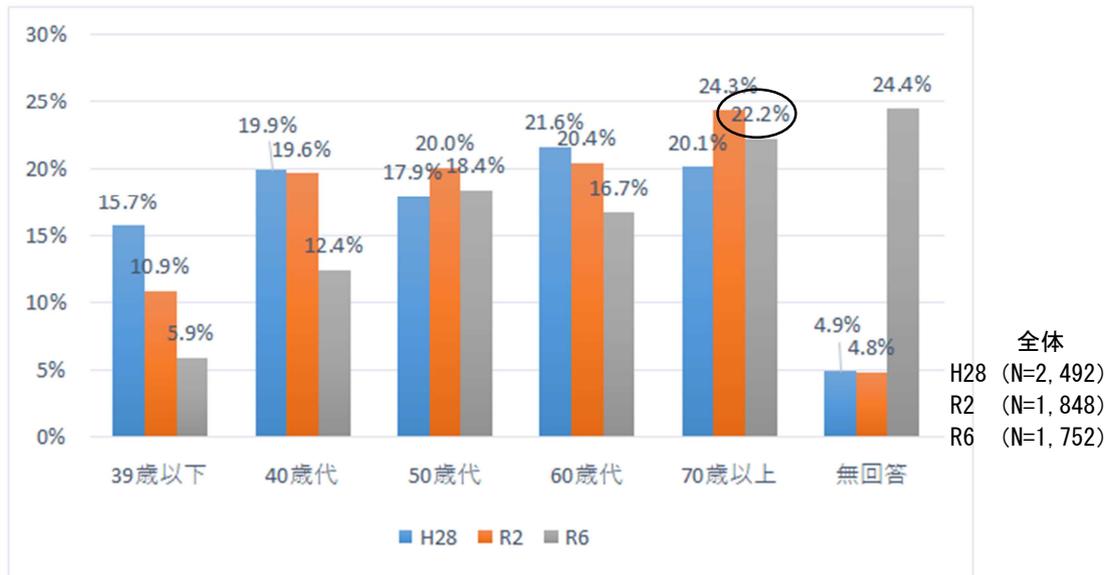
70歳以上の介助者の割合

H28 調査  
20.1%

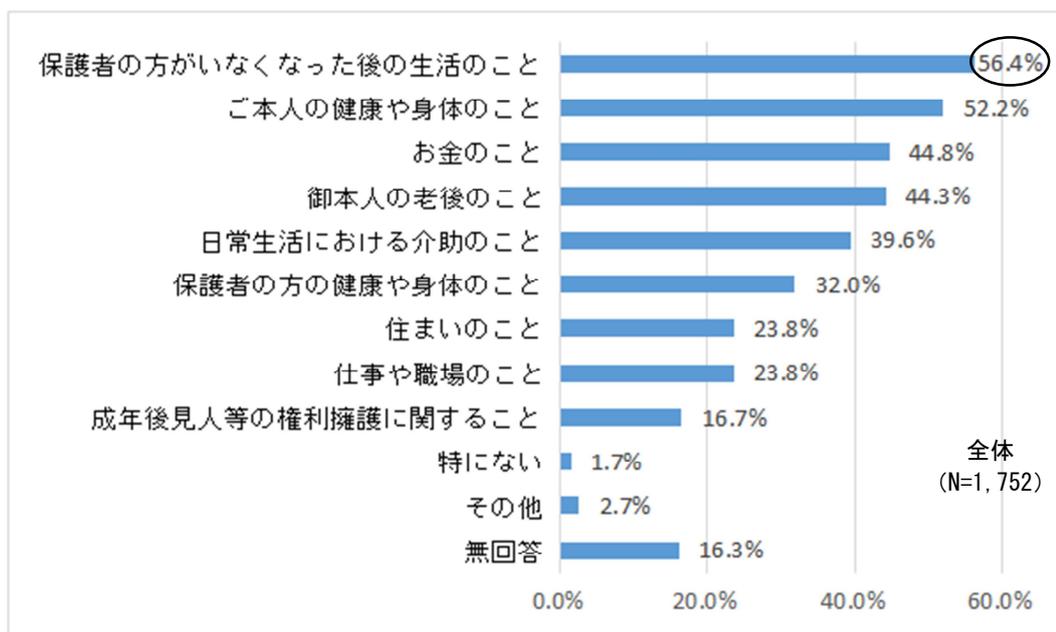
R2 調査  
24.3%

R6 調査  
22.2%

問 あなたを主に介助してくれる方の年齢層を教えてください。(複数回答)



問 御本人が生活していく上で今後心配になることは何ですか(保護者の方への質問) (複数回答)

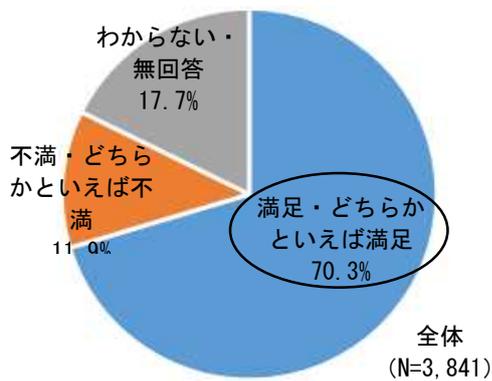


70歳以上の介助者の割合は22.2%と前回調査より2.1ポイント減少しましたが、生活していく上で今後心配になることとして、「保護者の方がいなくなった後の生活のこと」が56.4%と最も回答数が多い結果となりました。

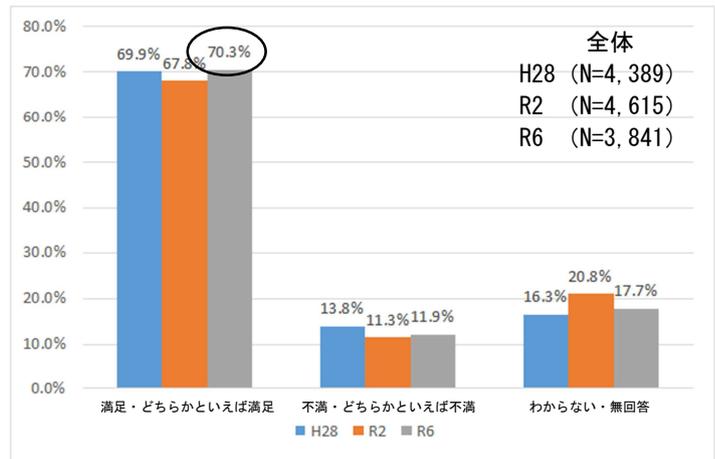
|                    |                 |                |                |
|--------------------|-----------------|----------------|----------------|
| 生活に満足している障害のある方の割合 | H28 調査<br>69.9% | R2 調査<br>67.8% | R6 調査<br>70.3% |
|--------------------|-----------------|----------------|----------------|

問 あなたは、現在の生活に満足していますか。

【今回調査結果】



【過去の調査との比較】



問 あなたが、現在の生活に不満がある理由を具体的に教えてください。

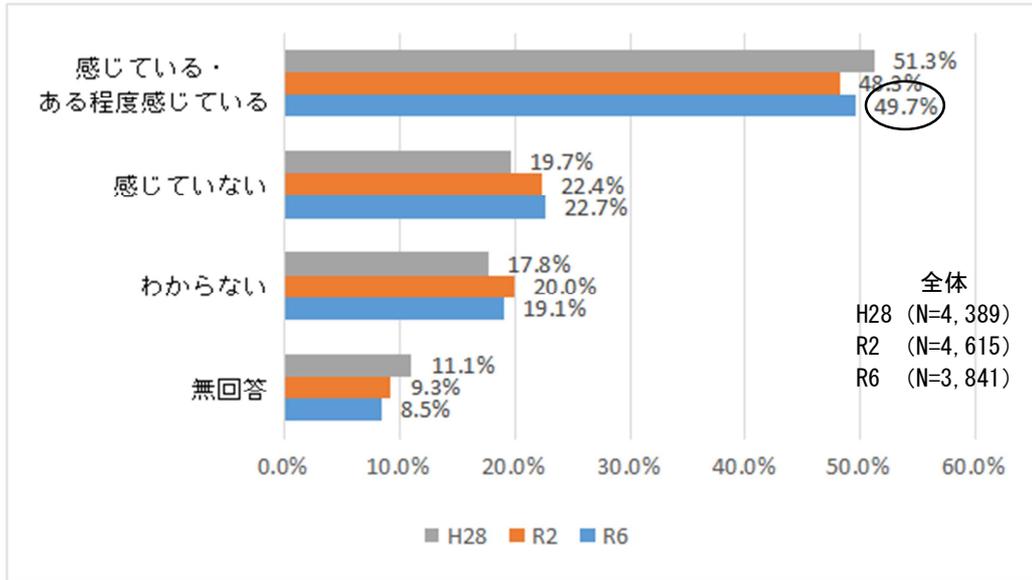
| 区分                       | H28   | R2    | R6    | R6-R2 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 行動に制約があること・やりたいことができないこと | 6.2%  | 16.5% | 16.4% | △0.1% |
| 家計・収入・金銭に関すること           | 20.2% | 14.7% | 14.6% | △0.1% |
| 自分の体調・障害・病気等に関すること       | 5.6%  | 11.3% | 12.6% | 1.3%  |
| 就労に関すること                 | 9.6%  | 8.3%  | 7.8%  | △0.5% |
| 家族や人間関係に関すること            | 8.8%  | 10.6% | 7.8%  | △2.8% |
| 福祉制度・サービスに関すること          | 6.4%  | 4.3%  | 5.6%  | 1.3%  |

「満足している」及び「どちらかといえば満足している」を合わせた割合は70.3%と、前回(67.8%)、前々回(69.9%)の調査結果を上回りました。

一方で、不満がある理由については、前回の調査結果と同様に、「行動に制約があること・やりたいことができないこと」の割合が16.4%と一番多い結果となっています。

|                                 |                 |                |                |
|---------------------------------|-----------------|----------------|----------------|
| 日常生活において自立し、社会参加をしていると感じている方の割合 | H28 調査<br>51.3% | R2 調査<br>48.3% | R6 調査<br>49.7% |
|---------------------------------|-----------------|----------------|----------------|

問 あなたは、日常生活において自立し、社会参加をしていますと感じていますか。  
 ※ここでいう、「自立」とは、必要とする支援を受けながらも、自分の意思をもって日常生活を送ることを含みます。

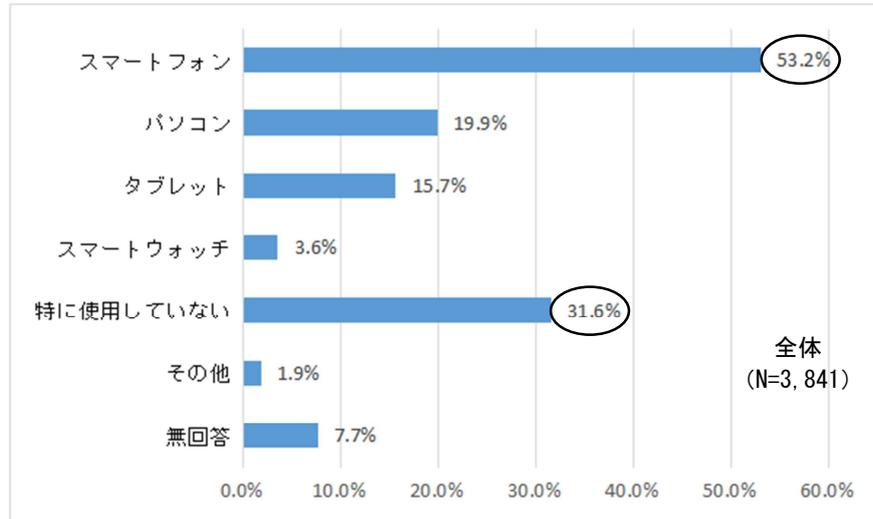


「自立し、社会参加をしていると感じている」及び「ある程度自立し、社会参加をしていると感じている」を合わせた割合は 49.7% となり、前回調査結果から 1.4 ポイント増加しています。

今後、より一層、障害のある方の社会参加への取組を強化する必要があります。

|                          |             |            |                |
|--------------------------|-------------|------------|----------------|
| 普段の生活でスマートフォンを使用している方の割合 | H28 調査<br>— | R2 調査<br>— | R6 調査<br>53.2% |
|--------------------------|-------------|------------|----------------|

問 あなたは普段の生活で、どのような ICT 機器を使用していますか。(複数回答)【新規調査】



(単位：件)

| 区 分     | スマートフォン | パソコン | タブレット | スマートウォッチ | 特に使用していない | その他 | 無回答 |
|---------|---------|------|-------|----------|-----------|-----|-----|
| 10 歳代未満 | 251     | 79   | 193   | 9        | 144       | 6   | 20  |
| 20 歳代   | 248     | 96   | 94    | 19       | 60        | 5   | 9   |
| 30 歳代   | 202     | 76   | 57    | 22       | 64        | 3   | 22  |
| 40 歳代   | 235     | 97   | 65    | 21       | 107       | 6   | 28  |
| 50 歳代   | 349     | 138  | 84    | 20       | 159       | 15  | 31  |
| 60 歳代   | 274     | 114  | 55    | 27       | 145       | 13  | 37  |
| 70 歳以上  | 355     | 114  | 32    | 13       | 448       | 19  | 110 |
| 計       | 1,914   | 714  | 580   | 131      | 1,127     | 67  | 257 |

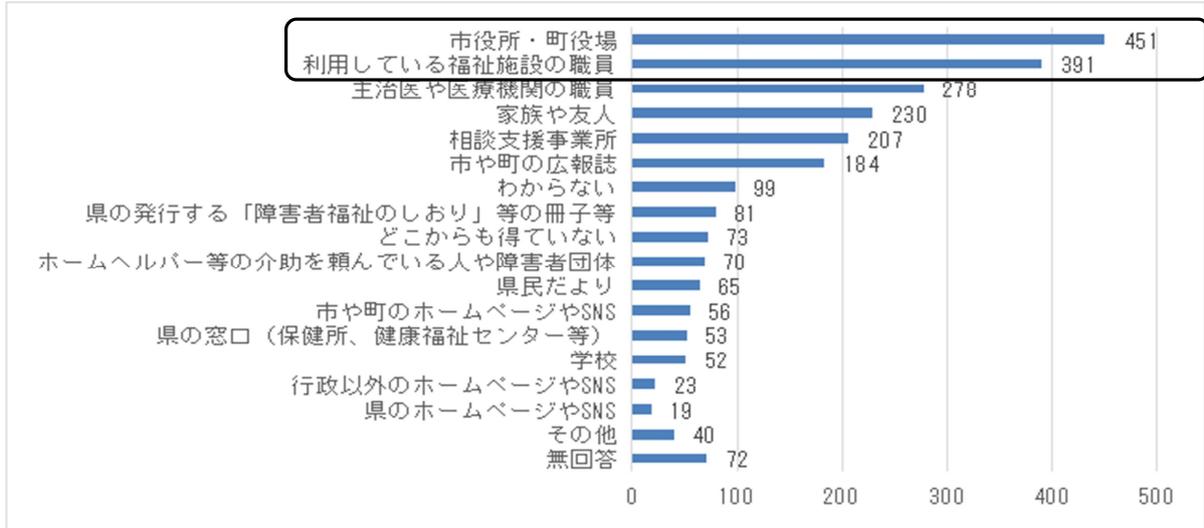
※問 2 の年齢の設定問において無回答とした者を除く。

普段の生活で 53.2%の方が「スマートフォン」を使用しています。そのほか、パソコンやタブレットを使用しているという結果になりました。

年代別では、全ての世代でスマートフォンが最も使用されているという結果となりました。

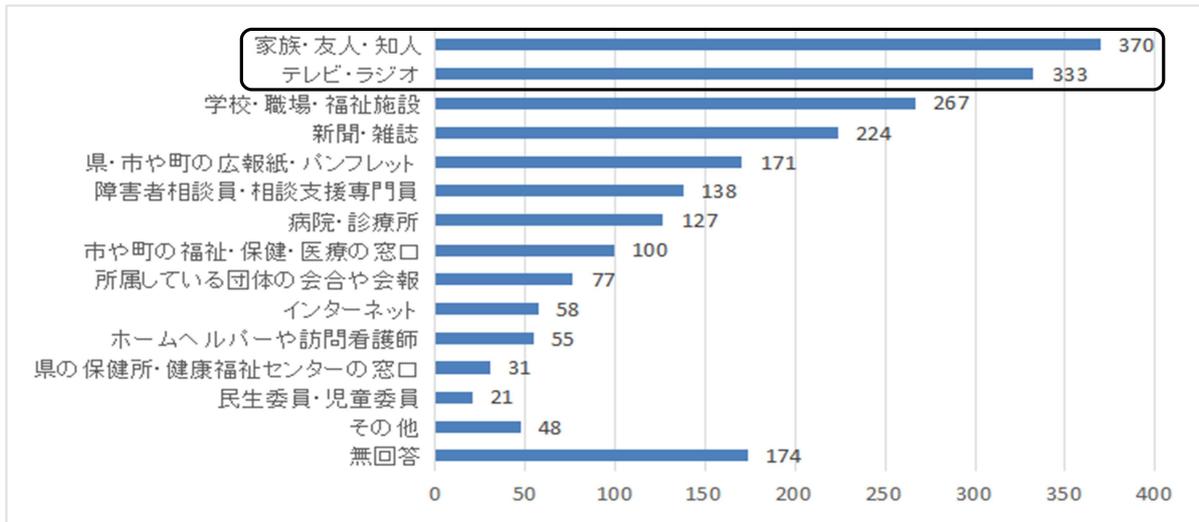
【分析】ICT 機器を「特に使用していない」と回答した方(1,127 人)の情報の入手方法。(複数回答)

①「障害福祉に関する情報」の入手方法（問 15 関係）



障害福祉に関する情報の入手方法は、市役所・町役場が最も多く、次いで利用している福祉施設の職員という結果になりました。

②「社会参加に必要な情報」の入手方法（問 28 関係）



社会参加に必要な情報の入手方法は、家族・友人・知人が最も多く、次いでテレビ・ラジオという結果になりました。

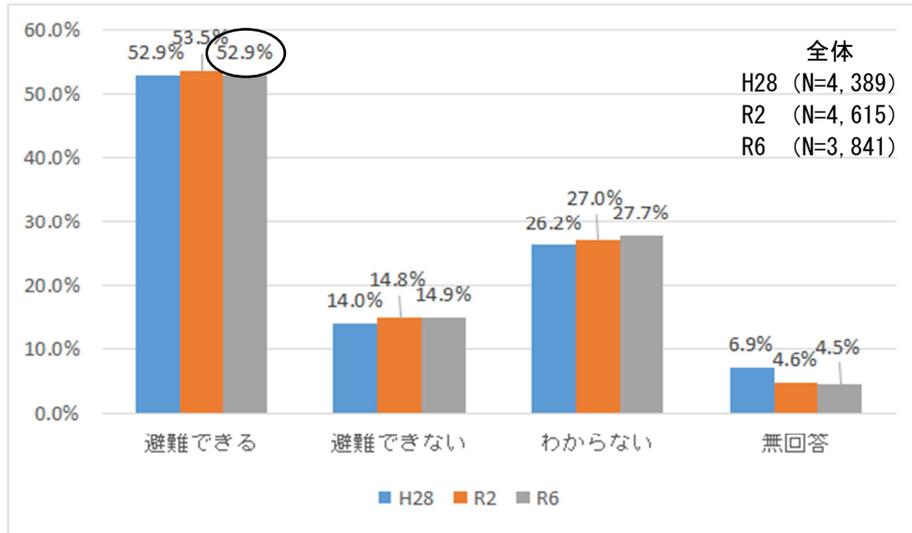
災害等の緊急時に、一人または支援を受けながら安全に避難できる方の割合

H28 調査  
52.9%

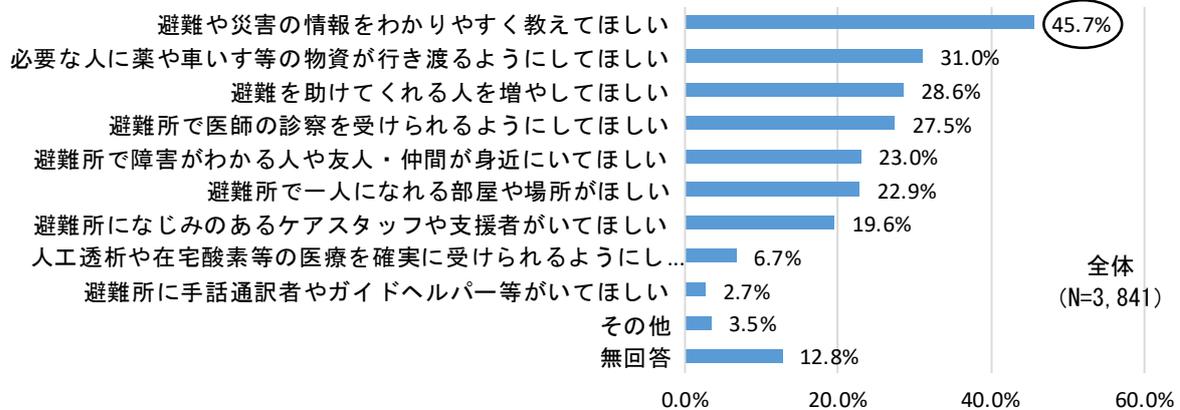
R2 調査  
53.5%

R6 調査  
52.9%

問 あなたは、災害等の緊急時に、自宅または施設から一人でまたは支援を受けながら、安全に避難できる環境にありますか。



問 地震や台風などの災害が発生した時に何が必要だと思いますか。(複数回答)



「避難できる」とした割合は52.9%で、前回(53.5%)、前々回(52.9%)と同水準の調査結果となりました。

また、災害が発生した際には、「避難や災害の情報をわかりやすく教えて欲しい」が45.7%と一番多い結果になっています。